



# 同友しずおか

# 4

VOL.473

題字：遠藤 在氏 榛原支部



**私の逸品**  
 新たな販路を求めて  
**プリントバリュー(株)**  
 詳細はWEBで！ (静岡支部)  
 静岡同友会



## 特集

## 2017年度イントロセミナーを振り返る 「同友会を知る」ことが増え続ける組織づくりの第一歩

会員訪問記 **柴田 和哉氏** ヤマサン・志太支部

### その他 主な内容

YourLife合同企業説明会、同友会大学、支部だより、青年部通信、新会員・名義変更紹介、友達の輪、クリスマスバザー寄付金贈呈

### 平成29年度 重点課題

- ① 経営指針の成文化率を高め、人を生かす経営を実践する同友会型企業を増やします。
- ② 中小企業振興基本条例運動を推進し、政策実現が行える組織づくり、地域づくりをめざします。
- ③ 早期に1200名会員を達成し、地域の活力を生み出す活動を推進します。

# 「同友会を知る」ことが増え続ける組織づくりの第一歩

静岡県中小企業家同友会では2017年度10月より、毎月第4金曜日の19時から同友会会議室にて「イントロセミナー」を開催しました。これは、同友会を知り、体感することで、新会員の皆さんには会の理解を深めてもらうこと、オブザーバの方には入会していただくことを狙いとしたものです。



冒頭の15分では、事務局員から静岡同友会の組織や理念、活動、めざす企業づくりについて、時にユーモアも交えながら説明しました。続いて、会員経営者が、同友会入会前、入会后、そしてこれからの展望を20分間で報告。経営上の失敗や苦勞なども交えた赤裸々な報告は、お互いが本音で語り合うという同友会の特徴、そして報告者自身の人となりや魅力がストレートに伝わるものでした。



その後、各々が自社や自分自身と向き合いながら、経営理念について考えるきっかけとなるバズセッションを行いました。この際には、「何のために経営していますか」「社員に対する基本姿勢は何ですか?」「大切にしている価値観は何です

## 経営理念の検討シート 7項目

- 1、何のために経営していますか?
- 2、創業時の精神は? 決意・想いは?
- 3、大切にしている価値観は何ですか?
- 4、自社の固有の役割は何ですか?
- 5、社員に対する基本姿勢は何ですか?
- 6、取引先・お客様への基本姿勢は?
- 7、地域社会や環境への基本姿勢は?

※上記からひとつを選びバズセッションを実施

か?」など7つの項目が書かれた“経営理念の検討シート”を活用し、参加者、特にオブザーバが話し合いたいテーマを1つ選んで、各自が自社や自身について発言。この過程で、他の経営者の考え方に気づきを得た方や、経営理念を考える際のポイントを学んだ方も多くいました。最後に、グループ発表を通じて、参加者全員で学びや気づきを共有しました。このように、報告、バズセッション、グループ発表という例会の基本的な一連の流れを通じて、特にオブザーバの皆さんには同友会を知り、実際に体感してもらいました。



全6回のイントロセミナーには、静岡支部を中心に志太・榛原支部、正副代表理事含め計38名の会員の皆さんが参加し、同友会を体感できる場を共創しました。また、計12名のオブザーバが参加し、同友会を体感しました。このうち4名の方が今年度入会し、3名の方が次年度中の入会を検討しています。

イントロセミナーは、2018年度も開催を予定しています。各支部の増強の場として、ぜひご活用ください。

2017年度イントロセミナー 報告者の皆様



宮澤 学氏  
宮澤電池産業(株)  
静岡支部



宮本 浩氏  
大栄工業(株)  
志太支部



中村 佐和子氏  
(有)フラワーサーカス  
静岡支部



井上 斉氏  
ワシロック工業(株)  
静岡支部



大戸 利之氏  
(有)大戸化成  
静岡支部



鈴木 雅夫氏  
(株)ハチマル  
榛原支部

<イントロセミナー参加者の声>

全6回のイントロセミナーに参加しました。振り返ってみると、この活動を通じて、新入会員さんやオブザーバの皆さんと会員との距離感が縮まったのを強く感じます。また、3月は参加者こそ少なかったですが、報告者からの問題提起に基づくグループ討論が参加者それぞれの経営課題とリンクし、非常に有意義な討論の時間になりました。来年度は4月から開催されるということなので、同友会を知ってもらいきっかけとしてはもちろんですが、自身の学びの場としても活用していきたいと思えます。

坪井 秀樹氏 (坪井畳店・静岡支部)

太田誠さん (有)M.C.S.KURITA・静岡支部)に紹介して頂き、1月イントロセミナーに参加しました。そこで受けた同友会の印象は、年齢や企業規模に関係なく、同じ経営者という立場で学びあうことができる場所、というものでした。また、打ち解けやすく参加しやすいことにも、強く魅力

を感じました。

例会やグループ会での交流、会員の皆さんとの繋がりから、同業者の輪の中だけでは出てこないようなアイデアや視点、考え方を学び、良いところは積極的に真似をしていきたいと思えます。

外木 昌宏氏 (株)富士一商会・富士宮支部)

経営者としての学びの場がどこかにないかと思っていた時、大多和宏明さん (有)静清鉄工・静岡支部)に同友会を紹介して頂き、2月のイントロセミナーに参加しました。最初は不安もありましたが、企業規模や業種、地域の違いがある中で、会員の皆さんの距離が近く、接しやすいことに魅力を感じました。

弊社は現在、人手不足など様々な経営課題を抱えています。それを解決できるようなヒントを、これから同友会の活動のなかで見つけていきたいと思えます。

高木 一旭氏 (有)清水機工サービス・静岡支部)

2018年度もイントロセミナーを開催!

右のスケジュールのとおり、同友会会議室にてイントロセミナーを開催します。「経営に悩む仲間を同友会に誘いたい!」という方がいらっしやいましたら、ぜひオブザーバとしてお誘いし、一緒にご参加ください。入会間もない方、ベテラン会員の方の参加も大歓迎です!

月	日(曜日)	時間	月	日(曜日)	時間
4月	27日(金)	19:00-20:30	10月	26日(金)	19:00-20:30
5月	25日(金)	19:00-20:30	11月	16日(金)	19:00-20:30
6月	22日(金)	19:00-20:30	12月	21日(金)	19:00-20:30
7月	27日(金)	19:00-20:30	1月	25日(金)	19:00-20:30
8月	24日(金)	19:00-20:30	2月	22日(金)	19:00-20:30
9月	28日(金)	19:00-20:30	3月	22日(金)	19:00-20:30

共同求人委員会 YourLife合同企業説明会

地域の未来を担う高校生に地元中小企業の魅力を発信

3月27日(火)島田市地域交流センター歩歩路にて、県共同求人委員会主催による「YourLife合同企業説明会」が開催されました。この「YourLife」は、“地元の学生が地元の企業に”将来就職することを狙いとした一連の活動で、企業説明会や授業での講義、インターンシップ・企業訪問を通じて高校生に自分の生き方や働き方について考える機会を創りだしています。当日は全28社(榛原24社、志太4社)が出展。また、志太・榛原地域の8高校から75名の高校生が参加し、各ブースで熱心に話を聞いていました。参加した高校生からは「分からないことが多かったが、質問したことに対して分かりやすく説明してくれて良かった」「経営理念が明確で分かりやすかった」「就職を考える上で大切なことや、何をすれば良いのかが詳しく分かった」といった声が聞かれました。



# 第15期 同友会大学

## 第六講 世界経済の今と明日



小松 善雄氏

今期最後の講義は、21世紀後半の社会や企業の変化を視野に入れたものでした。

20世紀末からのデジタル化をキーワードにしたIT革命は、誰もがネットで繋がる世界を生み、仕事も人々の生活も変わりました。そして今では、電気自動車に見られるように、電池が社会を変える「ET革命」に突入しています。21世紀初期の世界経済を見ると、リーマンショックは大きな影響を与えましたが、大恐慌とはならず「大景気後退」で済みました。これらを踏まえ、国づくり、企業づくりの面から、世界経済の明日を学びました。国づくりの面では、経済成長に代わる目標として「平等社会」が提唱されています。これは、富裕国において格差の大小と健康・社会問題の多寡に大きな関係性があるというデータに基づいてのものです。過去には世界で最も格差が無い国の1つだった日本も、徐々に格差が拡大していることに対し、イギリスにおける貧困層への差別等を事例に、問題提起がありました。また、企業づくりの面では、全ての人々が自己変革に取り組む“発達指向型組織”が求められるが、これは“自己成長+他者の成長”、つまり同友会の“共に学び、共に育つ”と同じものだとのお話がありました。

3月10日(土) 静岡同友会 会議室

講師：小松 善雄氏（中同協企業環境研究センター顧問）

最後に吉原博氏著（株吉原精工会長・神奈川県同友会会員）の書籍「町工場の全社員が残業ゼロで600万円以上もらえる理由」の紹介があり、グループ討論では「残業」をテーマに自社の現状や課題が話し合われ、長時間労働から脱していくことが明日の企業づくりに大切だと感じました。

講義終了後には卒業式が開催され、小松善雄氏と山本義彦氏（静岡大学名誉教授 静岡同友会顧問）よりご祝辞をいただきました。その後、延べ23名の受講生のうち4講以上を受講した8名に卒業証書が授与されました。最後に杉村征郎氏（杉村精工(株)・静岡同友会相談役）が、第1回同友会大学開講当時の情熱や熱気を振り返りながら「より多くの方に同友会大学を知っていただき、共に学んでいきたい」と結び、第15期同友会大学が幕を閉じました。



勝又 悦朗氏（同友会顧問・元青島文化教材社・静岡支部）

## 支部だより

沼津・三島合同例会

### 自社を100年続けるためには？

3月22日(木) プラサヴェルデ 参加61名



増田 隼人氏

合同例会が復活して3回目となる今年は、事業計画やプロモーションのコンサルを生業とする増田隼人氏（コミュニティキュレーション・三島支部）が報告者を務めました。増田氏は、勤め人として自動車整備工場の車検機器のシステム開発・メン

テナンスをしていた頃、出張で全国各地に足を運び、地方の現状と厳しさを知りました。そして、自分が地域活性の一翼を担いたいとの思いで、地元静岡に戻ってきました。最初はなかなかうまくいきませんが、VRやGoogleストリートビューを使ったマーケティング事業や事業計画の立案など、相手のためになることをやっていくことで、声をかけて

もらえることが増えていきました。これから100年の日本の人口減少などの社会問題に対して、自分の子どもの代になっても会社やスタッフが困らないような施策など、未来年表を使って考えました。自分たちは何とか逃げきれても、自社のスタッフや子どもが一生働ける会社になっているか？長いスパンでの会社づくりとは何かを考える機会となりました。



長岡 善章氏（㈲アーティスティックス・沼津支部）

# 支部だより

伊東例会

## 経営指針の必要性を再確認

3月14日(水) 伊東市健康福祉センター 参加8名



守谷 匡司氏

2月例会では三島支部長の三田宏一氏(有エムケイテクノ)に「経営指針の成文化と実践」をテーマに報告していただき、なぜ経営指針が必要なのか、経営指針の重要性を支部内で再確認しました。これを受けて3月

例会では、引き続き「経営指針の成文化と実践」をテーマに、経営理念検討シートを活用してのバズセッションを行いました。

参加者それぞれが経営指針の有無に関わらず、自分が何のために経営しているのか等を改めて考えました。グループ内では「長く仕事を続けてこられたのも地域の人々のおかげ。地域を元気にするために経営している」といった意見も挙がり、地域や社員、その家族に対する想いを再確認することができました。普段は目の前の仕事をこなすことに集中し、自社や自身を見つめ直す時間を取らずにいましたが、今回の例会を通じ自社を振り返ることで、何が大切なのかに気付くことが出来ました。この2回の例会を通じて、企業規模や社員数に関係なく、会社の軸としての経営理念の必要性を強く感じました。

杉山 拓也氏(大平造船工業(株)・伊東支部)

御殿場例会

## 「会社の数値化実践講座！」

— 一 個人目標を設定しよう —

3月14日(水) エピ・スクエア 参加51名

松岡健二氏(株オサコー・ホールディングス)が、自身の経験を基に「なぜ、事業計画が必要か」を報告しました。これからの時代を生き残るためには、会社が日常的に実施している財務会計ではなく、自社に役立つ



松岡 健二氏

管理会計という視点を用いて、自社の目標に向けてのハードルを設定していくことが必要です。それぞれが必要とする数値の指標を定め、それに向けて一丸となって動いていくことが必要だと実感しました。報告後のバズセッションでは、今年自社がどんな目標で動いていくのかをそれぞれ報告しました。会社の夢や目標が、経営理念です。その理念を達成するために、何が必要かを考えて作るものが経営計画です。理念からずれたことをしていけば自ずと会社の方向性は崩れ、行き先を見失ってしまいます。理念あつての計画ということを改めて理解できる良い機会になりました。

私も毎年計画を立てて会社を運営していますが、2年前に作成した計画が100%実施できているわけではなく、会社を取り巻く環境は日々変化し、それに沿った計画を常に考えていかなければいけません。1度作ったから満足するのではなく、常に新しい計

画を考え続けることが経営者にとっては最も重要だと学ぶことが出来ました。

塩川 佳司氏(株廻天・御殿場支部)

富士例会

## ニューヨーク帰りの カメラマンが語る今、未来

3月15日(木) ロゼシアター 参加28名



滝 和也氏

富士市蓼原で写真スタジオを経営する滝和也氏(株Nextgate)が「わが経営」を語りました。東京の写真専門学校で写真を撮る楽しさを知り、ニューヨークへの留学を経て、実家の写真屋を継ごうと決意しました。当時はフィルム写真からデジタルカメラ、そしてスマートフォンのカメラへと移り変わって

いく激変の時代。そこで滝氏は、写真の現像を主とする町の写真屋から、撮影スタジオと貸衣装業に事業領域を変えていきました。父との衝突や葛藤を乗り越え事業を引き継ぎ、東日本大震災の影響で売り上げが落ち込んだ時期も、何とか乗り越えました。同社の従業員は全員が女性とのこと。現在は若いスタッフの育成にも取り組んでいます。

人生で写真撮影といえ、お宮参り、七五三、成人式が多い中、今後は少子超高齢社会がますます進むことを見越して、終活のお手伝いとして高齢者の写真撮影に力を入れています。また、新規事業として訪問医療マッサージ業も始め、高齢者の笑顔を引き出しています。

プロのカメラマンがファイナダー越しに、生まれた時から最後まで人生を見届ける、そんな撮影スタジオでありたいとの報告でした。

若月 厚志氏(富士工芸・富士支部)

富士宮例会

## 新入会員さん出番ですよ

2月2日(金)、3月9日(金) 志ほ川 パイパス店  
参加38名(2月)、44名(3月)

富士宮支部2月・3月例会では、毎年恒例の新入会員による20分の報告をしました。新入会員をよく知ることのできる大きな機会。2月は稲葉祐輔氏(株富士アールアンドディー)、菅沼田洋光氏(有東伸工業)、前島靖勲氏(株不二工芸製作所)の3名が登壇。自社の強みや現在の課題、今後の展望を報告しました。3月は鈴木進太郎氏(株肉のすずき)、望月知洋氏(エムスタイル)、山下大介氏(アドバ



山下 大介氏、望月 知洋氏、鈴木 進太郎氏

ンスト・カルチャー・センター国際交流学園)の3名が報告しました。報告者全員が、多くの先輩

# 支部だより

会員を前に緊張しながらも現場作業員からの脱却、事業承継、社員との関係、10年後の自社の姿など、現在の課題や経営への思いを語りました。バズセッション後の先輩会員からの感想・質問は、新会員の奥深い気持ちを引き出すような内容で、参加した会員全員が辞書の一頁を増やすことができました。

6名とも波乱万丈の人生を送る中で同友会に入会し、この報告により自分自身を深く見直したことと思います。悩んでいない経営者などいない。悩んでいるからこそ同友会に入会して学んでいる。そのような初心を再認識させてくれる例会でした。

金子 佳正氏（金子石材滝戸・富士宮支部）

志太例会

## 普通の派遣社員が、 会社の専務になるなんて！

3月22日(木) 藤枝市文化センター 参加20名

榛原支部の岸端千奈津氏（栄保㈱）が、事務の派遣社員としての入社から、紆余曲折を経て専務取締役となるまでの過程と、その中の気付きや自身の変化を報告しました。入社後、営業などにも関わることになった岸端氏は、一生懸命な仕事ぶりが評価され、同社の法人化のタイミングで常務取締役就任。派遣社員として入社した自分が役員になることへの迷いもありましたが、社長の「今のまま、同じようにやってくれればいい」という一言で就任を決意した。その後は現場監督なども任せられるようになり、一層仕事への情熱を燃やし、ほぼ休みなく働いていました。しかし、仕事での成功を重ねるにつれて天狗になり、周囲の自分に対する見方や思いに気付くことができなくなっていました。

ある講習を受けたことをきっかけに、周囲が見えなくなっているだけでなく、自分自身をも見失っていることに気付きました。それからは社員が自分に「ついていきたい」と思ってもらえるような働き方を心がけています。

報告後は「あなたは大切にしている〇〇さんと、どのように接していますか？」をテーマにバズセッションを行いました。会社を経営するにあたって切り離すことができない、大切な人（主に社員）とどのように関わっていくのか、活気あるバズセッションとなりました。

山田 幹也氏（㈱立花ガーデン・志太支部）

榛原例会

## 同友会運動と企業経営は不離一体

3月15日(木) コミュニティホールきてご榛原 参加103名

梅田益生氏（有）ウメイチ・岐阜同友会）を報告者に迎え、県外からの参加者も含め100名を超える盛大な例会となりました。33歳の若さで同友会の学び



梅田 益生氏

をそのまま経営に反映させ、日々実践している梅田氏。中でも、社員に経営者の夢を押し付けない、語れる職場づくり、長く働きたいと思ってもらえる会社づくりなど、会社づくりの上で大切にしているという6つの要素は、一気にやることは無理でも、毎日コツコツやり毎年改善していくこと、それを指針に盛り込み社員と向き合い社風も改善していくとのこと。指針経営の大切さを実感しました。また、主体的な社員を育てるには、まず経営者自身が主体者としての行動をとることで変わり、やがて社風になってくると学びました。社員はまるで経営者自身を映す鏡のようなのだと気付かされました。

同友会や青年部の繋がりを深めることで、同友会の学びや先輩方の助言などを活かすことが出来ることを知りました。梅田氏のスピードある経験に驚きもありながら、改めて同友会の大切さを感じ、主体性のある自分、良い社風の会社づくりを目指していきたいと思いました。

池田 直之氏（㈱池田製作所・榛原支部）

中遠例会

## イントロセミナー ～同友会と私～

3月15日(木) ワークピア磐田 参加10名



井上 斉氏

井上斉氏（ワシロック工業㈱・県代表理事）が、同友会理念・活動・組織について、そして同友会での学びをどのように自社経営に生かしているかを報告しました。私たちが普段の忙しさから、同友会の活動に対して消極的になっていた面が多々あるなかで、自支部だけよりも外へ一歩踏み出すことがより多くの学びを得ることに繋がるといふ井上氏のお話により、組織を十分に理解し、自社と仲間の更なる飛躍の有効活用のもとしなければいけないと強く感じました。

井上氏は入社当初、社員は自分のことをわかっているつもり、自分は社員の良き理解者のつもりでした。実際は自分が全て決定するワンマン経営者で、気付けば周囲には誰もいない「裸の王様」になっていたそうです。そこから社員に相談をするようになり、自主・自発的な社員の育成に注力しました。井上氏は「社長の仕事は、会社の目指す方向性を断定することと、権限移譲の2点」と言います。権限移譲とは言ってもほったらかしではなく、常に社員を見守っていることが大切です。「社長が変われば会社も変わる」これは当たり前のように聞こえますが、そこに引き着くまでの積み重ね、毎年の経営指針書の見直し等が大事であることを改めて実感しました。

藤井 陽介氏（有）藤井建築・中遠支部）

社員と共に育つ企業づくり

ヤマサン

代表 柴田 和哉氏 (志太支部)

事業内容：ユニットバス、トイレ、キッチン、ボイラ、エコキュート等のリフォーム

創 立：2015年1月

社 員 数：2名

入会年月：2015年8月

所 在 地：藤枝市藤岡2-8-4

学びの場を求めて同友会へ

柴田和哉氏が独立前に勤めていた会社の社長は、同友会の会員でした。その頃から会について「良い会だ」と思っていた柴田氏は、2014年11月に実家のある藤枝市へ引っ越し、2015年1月5日にヤマサンを創業。それから約半年の後、学びの場を求めて入会しました。

経営理念の成文化で採用を決意

柴田氏は入会の翌年に、第13期経営指針を創る会に参加。ここで指針を成文化したことや、その過程で課題や目標が明確になったことがとても大きかった、と柴田氏は言います。ここでの経験をきっかけに、社員の採用を決意し、2017年10月に初めて雇用をしました。

志太支部内では、入会当初から積極的に会活動に参加し、入会2年目には支部内グループのサブリーダーに抜擢されました。会内で積極的に役を受けることを、経営者としての自身の成長につなげています。



柴田和哉氏(左)、社員さんと合同企業説明会ブースにて

社員の幸せが第一

指針成文化から2期目になりますが、順調に仕事を獲得しています。昨年入社した新入社員は、面接時に理念を見せ、共感してもらっての入社で、柴田氏と想いやベクトルが共有できています。ただ、未経験ということで一から覚えることが多いのですが、一人前になろうと、一生懸命頑張っています。柴田氏は、社員と共に成長し、仕事のエリアを広げ、静岡県全域を対応できる組織にするという目標を掲げ、日々の仕事に励んでいます。同時に、社員が不便なく安心して暮らせるような会社を目指し「社員さんの幸せを一番に考え、社長としての研鑽も重ねていきたい」と柴田氏は話してくれました。

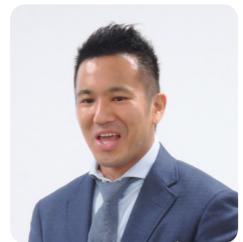
取材・記事：山田 幹也氏 (株立花ガーデン・志太支部)

連載 Seinenbu Tsushin 青年部通信

第10回

静岡 岡同友会青年部の発足から2年が経とうとしています。県での発足以来、各支部でも青年部活動が発足、活動が活性化しています。これは、静岡県ならではの特徴だと思います。県青年部としては、このような各支部の活力を結び「横のつながり」を意識した活動を行っていきたいと考えており、トップリーダーを育てよう、経営感覚・経営スキルを学ぼう、切磋琢磨できる仲間を作ろうという方針のもと、次年度は2回の例会と毎年恒例の朝まで討論会の開催を予定しています。私はその中でリーダーシップを発揮しながら、青年部活動、同友会運動を盛り立てていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、次年度の第一弾となる例会を、6月14日(木)に静岡市のペガサートにて「青年部活動と企業経営を不離一体として」をテーマに開催する予定です。サブテーマを「共に切磋琢磨する青年経営者の仲間を地域に増やそう」とし、パネルディスカッションを予定しています。また、当日は中同協青年部連絡会が静岡にて行われるため、全国の青年部の仲間が例会にも参加します。そして、県青年部副部会長の小松寛氏(㈱ヤマカ水産・沼津支部)にもパネラーとして登壇してもらいます。最高の学び合い、仲間づくりの場としますので、積極的なご参加、よろしくお願ひします。



塚本 和成氏

塚本 和成氏 (㈱塚本商店・志太支部)

## 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数1077名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
かつまた 勝侯 としあき 俊明	(株)エムエス・パドック サービス(特殊洗浄事業、モータースポーツ競技全般サポート、イベント企画・運営、海外企業の国内サポート、車両開発・試作、競技車両用特殊物品販売(特注)、材料等技術研究開発サポート)	御殿場	菅沼 良将
さいとう 齋藤 しんご 慎吾	オークラボックス(株) ポリ袋・市町村指定ゴミ袋卸売販売(海外から製品にて輸入し販売)	沼津	楠 雅彦
おおい 大井 しゅうじ 剩慈	(株)SET UP 足場仮設業(足場組立及び解体)	富士	大石 智一
せきざわ 関澤 しんいち 新一	(株)大一セラム 電気機械機器製造業(圧電セラミックス、その他各種センサー製造)	富士宮	朝日 康典
むらかみ 村上 たいし 大志	ファミリーマート富士宮北山 コンビニエンスストア経営	富士宮	細田あや子

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
すずき 鈴木 りゅういち 竜一	(有)スズキ工房 建設業(建築設計・施工・管理、店舗設計・施工、建物の内装・外装工事の請負、そこに付帯する一切の業務)	静岡	井上 斉
もりや 森谷 ひでき 秀樹	エムエムケー(株) 建築塗装、防水、リフォーム(住宅・ビル・マンションなどの外部・内部の塗装、防水工事、一般塗装、吹付塗装、シーリング他)	静岡	三木 清夫
あかほり 赤堀 まさや 昌也	akgm&co 広告・デザイン業(広告デザイン、Webデザイン、ブランディングデザイン)	志太	戸塚 康之
とみた 富田 よしみち 佳通	ヤマ梅 富田製茶 農業(製茶業)	榛原	鈴木 克哉
いけだ 池田 ひろゆき 紘礼	合同会社 トレードアーチ 総合商社(各会社の営業代行、通信機器の販売メンテナンス、OA機器の販売メンテナンス)	浜松	江間 省豪

### ■名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名	所属支部	旧名義人
かつ 勝 また 又 しげ 重 ただ 忠	(株)ランバーリング・カツマタ	富士宮	勝 又 重 政
あき 秋 やま 山 ひで 英 まさ 正	浜松資材(株)	浜松	秋 山 久 武

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」にアップします。e.doyuからのご確認をお願い致します。

## 友達の輪 第47回

入会時を思い出すと、初めはあまり例会に参加しておらず、自社もこれまでと何ら変わらないものでした。しかし、第8期経営指針を創る会(以下、創る会)に入会し、仲間達の苦悩、努力に刺激されると、私自身もこれではいけないという思いに駆り立てられ、その後、自身の活動に大きな変化が起きるようになりました。その1つは「経営革新」の認定を得られたと目をキラキラと輝かせて話してくれる仲間の姿に刺激され、私も変わろうとするきっかけを得たことです。結果的に、弊社の新商品も「経営革新」の認定を得たことで、それが更なるステップにどんどん展開している状態となりました。弊社は、目に見えない「人財育成サービス」を提供しています。かねてより「目に見えるサービス」を創りたいと強く思っていました。思うだけで終わっていました。しかし、この創る会の仲間達の存在をきっかけに、自身の考え方や行動にも変化が起き、前進あるのみと常に行動し、結果的には、業績向上にも繋がるようになりました。また、支部内の問題で頭を悩ませた時期がありましたが、何とか既存役員と心機一転立ち上がろうと企画した例会に、創る会のメンバーが応援に駆けつけてくれたことは、とても勇気づけられ胸が熱くなりました。こうしてみると、同友会の仲間達の存在とこの環境に感謝したい気持ちです。今後もこれらの仲間達の存在を常に感じながらまた成長していきたいと思えます。次回の「友達の輪」は、岩井一代さん(有)たちばなファーム・浜松支部)です。岩井さん、よろしく願います。



須山 由佳子氏

須山 由佳子氏 (有)キャリアアップ・浜松支部)

## クリスマスバザー売上金を2団体へ寄付



静岡同友会は昨年12月2日(土)に開催された「第18回いのちポカポカ街かどクリスマス」でバザーを出店し、皆様のご厚意により105,415円の売上金が集まりました。

この売上金を、静岡市社会福祉協議会へ50,000円、スペシャルオリンピックス日本・静岡へ55,415円、それぞれ寄付させていただきました。当日は贈呈式が行われ、静岡市社会福祉協議会へは伏見修・障がい者問題委員長より山本伸晴会長へ、スペシャルオリンピックス日本・静岡へは西躰亮貴・障がい者問題委員より湯浅優子理事長へ、寄付金をお渡ししました。

バザーに際し商材提供や設営にご協力頂いた皆様、そしてご来店頂いた皆様、ありがとうございました。クリスマスバザーは来年度も予定していますので、引き続きご協力をよろしくお願い致します。



静岡同友会 Facebook ページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください!

### 同友会 三つの 目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。